



脳神経外科専門研修について

柳谷 啓太 脳神経外科 助手

2017年3月 弘前大学卒

脳神経外科専門研修プログラム 2019年度開始



元々外科系志望だった私が脳神経外科医を志したのは、5年生の実習のときでした。人間を人間たらしめている脳という臓器の奥深さや、1ミリもない血管を触る繊細な手術に心を惹かれたのがきっかけでした。医学部卒業後、2年間の市中病院での初期臨床研修の間にも脳外科をまわり、その気持ちはますます確かなものになりました。

そんな自分が弘前大学脳神経外科専門研修プログラムを選んだ理由は、出身大学であり見知った環境であること、それ故お世話になった先生方がたくさんいること、そして、大学病院でしか見られないような豊富な症例を経験することができるからです。加えて当医局では専門研修1年目から大学院への入学も可能です。臨床も研究もやりたいという人にとっては、理想的な環境ではないでしょうか。

医師不足が叫ばれる昨今、人手が足りている科はどこもありませんが、当科ではここ最近入局者が増えています。分からないことや不安なことを気軽に聞ける身近な先輩がいるというのも、魅力の一つとして挙げられると思います。

これを読んでいる皆さんの中には、将来手術がしたい人、カテーテル治療がしたい人、内視鏡治療がしたい人、外傷が見たい人など色々いると思いますが、脳神経外科ではこれらを、小児から成人までを対象に、診断から治療まで全てできます。

もしよかったら、将来の志望科の一つに加えていただくと幸いです。



脳血管撮影